

平成29年度第1回教育改革ICT戦略大会運営委員会議事録

I. 日時 平成29年4月24日（月）15:30～17:30
場所 本協会事務局会議室

II. 出席者 向殿委員長、望月委員、田村委員、寺田委員、今泉委員、稲葉委員、尾崎委員、
木村トバイザー

（事務局：井端事務局長、野本主幹補佐、高川職員）

III. 担当理事・委員長の挨拶

向殿委員長より、平成29年度教育改革ICT戦略大会の意義及び役割等について説明が行われた。

IV. 委員紹介

当日出席の望月委員、田村委員、寺田委員、今泉委員、稲葉委員、尾崎委員、木村トバイザーより自己紹介が行われた。

V. 検討事項

1. 「平成29年度教育改革ICT戦略大会」開催要項の原案作成について

- ① テーマについては、原案で「学士課程教育の改革を加速する実践的な取り組みとICTの活用」としていたが、抽象的で参加者に呼び掛けるインパクトが弱いことから、「学びの質向上を加速する取り組みとICTの活用」に改めた。
- ② 開催趣旨については、第3期教育振興基本計画の基本的な考え方が発表され、平成29年夏を目途に審議経過が発表されることを受けて、議論されている教育政策の方向性と関連づける中で改めて推敲することにした。
- ③ 初日プログラムの「全体会」については、次のように変更することにした。
 - * 1番目では、「第3期教育振興基本計画策定の審議状況」の説明を受けて政府の教育政策の重点施策の認識を共有する。
 - * 2番目は、今後予想される社会の変化、グローバル化の進展などに対応できる学びの質を確認するため、「学力の3要素を深化・発展させる大学教育改革とICT活用」とした。
 - * 3番目は、大学改革実行プランに沿って各大学で教育の質的転換に向けた改革が進められたが、学生の能力がどのように向上したのか検証することにした。授業の出席が良くなる、グループ学修に参加するようになるなど、形だけの教育改革になっていないか、批判的・論理的・合理的な思考力など本質的な変化が見られるようにするための論点を整理するために、「教育改革によって学生の何が変わったのか」をテーマにシンポジウムを通じて参加者と全体討議することにした。
 - * 4番目は、学修成果のビッグデータを分析し、学生一人ひとりに適した学修支援を行う試みとして、「人口知能を用いた自己成長支援システムとポートフォリオの一体化」について情報提供することにした。
 - * 5番目は、教育の質保証を客観化する学修ポートフォリオシステムのガイドラインを本協会できりまとめたので、「学修ポートフォリオの導入・活用戦略とeポートフォリオシステム構築の留意点」について参考指針を説明することにした。
 - * 以上のプログラムについては、講演者、発表者の協力を打診した上で、開催要項案をとりまとめることにした。

- ④ 二日目の「テーマ別意見交流」は、分科会A「アクティブ・ラーニングにICTとモバイルを活用した取り組み」、分科会B「学修成果可視化に向けたIRの取り組みと課題」、分科会C「eポートフォリオシステムを活用した学修支援」、分科会D「価値の創出を目指した問題発見・解決思考の情報リテラシー教育モデル」の枠組みを確認し、発表者の協力を打診した上で取りまとめることにした。

4. その他

次回の委員会は、開催要項案に基づき講演・発表者に協力を打診するため、急遽、4月29日（土）に開催することにした。

以上